



出所: 日本工業大学工業技術博物館 動態展示  
復元町工場「植原工場」ベルト駆動の横フライス盤  
《1927(昭和2)年製》

# 《2024 基礎講座》募集要項

日工販SE教育 [設備機械セールスのための基礎講座]



日本工作機械販売協会  
教育事業局



## はじめに

2020年から続くコロナ禍も2024年に入り5年目となりました。

相変わらず感染は続いています。感染症法上の扱いはインフルエンザと同等レベルに変更され、マスクを付けていない方も多く見られるようになってきました。

このコロナ禍において導入した配信ビデオ受講型での講義受講も、日工販SE教育における座学講義ではほぼ定着してきました。これにも様々なご意見はいただきながらも、受講の柔軟性の観点から、座学講義では今年も引き続き配信ビデオ受講形式により開講いたします。

また、昨年に引き続き基礎講座は実習(見学)を組み込んで開催することとしています。

詳しくは本要項にて述べますので、ご一読の上、奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。

日工販がお届けするSE教育の各講座は、業界内における人材育成と職業能力の向上をめざし、各講座とも経験豊富な講師陣をお迎えして実施しており、以下表のとおり2023年度までの33年間のSE教育受講者数は10,813名<sup>\*</sup>となっています。

<sup>\*</sup>基礎講座3,070名/31期迄、SE講座4,641名/33期迄、更新研修2,004名/28期迄

### ◆受講実績(過去33年間)

(人)

年度	1991~ 2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	累計
基礎講座	2,305	120	120	121	120	135	149	3,070
SE講座	3,861	139	167	101	117	124	132	4,641
更新研修	1,565	59	85	79	67	61	88	2,004
永世SE	751	63	66	36	67	69	46	1,098
計	8,482	381	438	337	371	389	415	10,813

<sup>\*</sup>「日工販SE」有資格者は3,995名(2024年3月末現在)

日工販SE教育の講座は日工販会員に限らず、関連団体を含め一般企業にも公開していますので、工作機械やその関連機器の設備機械販売に携わる各企業の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

詳細は後述する各講座のご案内をご覧ください。この機会を是非ともご活用くださいますようお願い申し上げます。

## 目次

	ページ
■SE教育の全体像	.....1
■受講のおすすめ	.....3
■受講対象・開講期間・定員	.....3
■講座内容	.....4
■お申込み要領	.....6
お申込み期限・要領 受講料のお支払いについて	
■公的助成金制度	.....7

# SE教育の全体像

SE教育制度の全構成は以下のとおり。

[今回ご案内対象]

## ✓基礎講座

初心者向け教育講座全5科目、確認テストの実施 + 日本工業大学における実習(希望者のみ)  
修了者には「基礎講座修了証」を発行。

## ✓SE資格取得講座

主に営業経験3年以上の者<sup>(注1)</sup>を対象としたSE資格認定コース、資格有効期間5年

### \*1. 受講体系

#### 第1STEP: 配信ビデオ講義受講 もしくは 集合型研修(全3日)参加

(以下「ビデオ or 集合」という。いずれも全11講義: ビデオ or 集合はお申込み時に選択)

#### 第2STEP: 通信教育(10科目、受講有効期間1年間) <sup>(注2)</sup>

### \*2. 資格取得コースと取得要件

◆次のいずれかを修了<sup>(注3)</sup>した場合に資格授与。

《一般認定コース》 ※受講者目安:設備機械営業経験3年以上  
ビデオ or 集合 11科目受講 + 通信講座6科目履修  
※当コースでの通信講座6科目=必修1 + その他5

《特別認定コース①》 ※受講者目安:設備機械営業経験7年以上  
ビデオ or 集合 08科目受講 + 通信講座3科目履修  
※当コースでの通信講座3科目=全10科目のうちから3科目を任意選択

《特別認定コース②》 ※受講者目安:設備機械営業経験7年以上  
ビデオ or 集合 04科目受講 + 通信講座4科目履修  
※当コースでの通信講座4科目=全10科目のうちから4科目を任意選択

※「通信教育のみ」または「ビデオ or 集合のみ」を受講することも可能。ただし日工販SE資格授与の対象外。  
※ビデオ or 集合、通信教育ともに、テスト採点結果60点以上で合格。通信教育で基準に満たない場合は再提出。

※「日工販SE」認定証の交付: 第2STEP(通信教育)講座の合格者には、最終レポート返却の際に「合格通知」を添付。「合格通知」記載要領に基づき、各自認定証発行を申請。

注1: 受講の際の目安としてお考え下さい。受講予定者の営業部門キャリア、業務スキル等を踏まえ、各社にて受講可否をお決めください。

注2: 「ビデオ or 集合」講義の科目別テストに合格後、教材を別途送付します。

注3: 3コースのいずれを選定するかは、受講予定者の営業部門キャリア、業務スキル等を踏まえ、所属会社

の裁量でご決定ください。

### ✓SE資格更新研修

SE資格取得後の資格更新コース、資格延長期間は5年

- \*1. 講座を受講し、確認テストに合格すること（資格更新者対象の専門講座、全3～4講義）  
合格者には別途「合格通知」を発行し、申請に基づいて新認定証を発行。
- \*2. 対象者は教育事業局から別途連絡（SE資格取得後3年半を経過した者）

### ✓永世SE資格取得

申請手続きで、永世SE資格を取得（事後、新認定証を発行）。

※対象者は、日工販教育事業局から事前連絡。

## ✓「基礎講座」受講のおすすめ

企業の最も重要な財産は“人材”ですが、いかに多くの“優秀な人材”を擁するかが企業の成長にかかっています。従って“優秀な人材”へ向けて柔軟で吸収力のある新人を鍛える場が最も重要となります。

「基礎講座」は設備機械販売に携わる営業経験が 0~2 年の方から一般社員（配置転換及び中途採用）の方々までを対象とした講座です。

この講座は機械の役割や販売の基礎知識、また新入社員にとっては社会人としての仕事への取り組み方を学べる非常に貴重な講座です。“営業”として知っておきたい機械の基礎知識・一般常識や、企業内OJTの補完教育としてもご活用ください。

なお、受講修了者には基礎講座「修了証」を発行いたします。

## ✓受講対象・開講期間・定員

### (1) 受講対象者基準

入社後 0~2 年の社員または営業経験年数がそれに準ずる者

※新入社員に限らず、組織編成にともなう配置転換並びに中途採用の各社員も含まれますが、上記基準はあくまでも目安ですので、ご選定はあくまで各社のご判断によりご決定下さい。

### (2) 座学講義（定員なし）

6月2日(日)~6月29日(土)迄（約1か月間）

※配信ビデオ受講形式による各社事業所やご自宅の各PCによりご受講ください。

※受講期間外は受講システムにアクセス出来ません。

### (3) 実習（各回とも定員 Max40 名）※以下2つの受講枠の中から、いずれかの枠で受講していただきます。

第1回：6月13日(木)

第2回：6月20日(木)

※1.（座学講義を受講せず）実習のみの参加は出来ません。

※2. 実習への参加は、希望される方のみを対象とします。

※3. 各回とも実習時間は、13:00~16:30を予定していますが、具体的にはお申込決定後送付する「受講案内」に記載予定です。

※4. 先着順で受付しますが、希望者数が多い場合は（各社上限10名に）個別調整します

※5. 参加回は、後日個別に連絡します。なお、希望回のご指定はできませんのであらかじめご了承ください。

## ✓講座内容(座学)

講義時間	講座名(講師名敬称略)	講座内容
90分	<b>工作機械とは</b> 監修:面谷 健次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工作機械の概念</li> <li>・金属加工工作機械の分類・加工方法・種類</li> <li>・旋盤・マシニングセンタ・複合加工機の基本とその特徴・スペック(カタログ・仕様)の見方・機種選定</li> <li>・業界用語(現場用語)について</li> </ul>
90分	<b>工作機械の要素・切削理論・加工物材料</b> 講師:上野 健治	工作機械を取り巻くものづくりの要素、工作機械の重要要素、NC工作機械加工と制御、切削加工の原理、加工物の材料、工具、測定と精度
90分	<b>プレス機械の基礎</b> 講師:畑 幸男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレス機械とは</li> <li>・プレス機械関連の法令</li> <li>・プレス機械の種類と選定仕様</li> <li>・プレス機械加工の種類</li> </ul>
80分	<b>仕事の取組み姿勢について</b> 講師:牧野 修司	“仕事”に向き合う際の基本姿勢、“仕事”を目の前にした基本動作、そして“仕事”への取組姿勢など、“仕事”に対する基本的な考え方を併せて解説。
60分	<b>工作機械業界の過去・現在・未来</b> 講師:中島 和彦	工作機械業界の変遷・主な出来事と教訓、現状と見通し、海外の話など工作機械業界の基礎となる内容を学ぶ。

**【講師略歴】(敬称略) ※今回講義における質疑応答をご担当いただきます。**

**面谷 健次**：オークマ株式会社 ソリューション&システム技術部 主管技師。

**上野 健治**：元 三菱商事テクノス(株)設備機械事業部 技術アドバイザーとして社員教育を担当。

元 三菱重工業(株)工作機械事業部技術部長。国立法人研究機関において教授を歴任。  
高エネルギー加速器研究機構名誉教授。工学博士。

**畑 幸男**：日本鍛圧機械工業会 技術顧問、(株)機械安全実践技術 代表取締役。

**牧野 修司**：三菱商事テクノス(株)産業メカトロニクス事業部長、また役員として営業戦略担当、営業統括担当を歴任。元 同社取締役専務執行役員。

**中島 和彦**：日工販専務理事。

日綿實業(株)入社後、一貫して機械営業に従事。双日(株)執行役員を経て双日マシナリー(株)社長・会長を歴任。



## ✓講座内容(実習)

- (1) 講師説明による日本工業大学工業技術博物館の見学(工作機械の発展の歴史を学ぶ)
- (2) 同大学「機械実工学教育センター」の見学及び5軸加工機実機の実演見学

### ※1.ご留意事項

実習当日までに以下事項を遵守してください。(必須)

- (1) 座学講義の「工作機械とは」(面谷講師)を受講し、修了しておくこと。
- (2) 日工大工業技術博物館のHP( <https://museum.nit.ac.jp/> )を事前に見て予習。

### ※2.実習場所

日本工業大学工業技術博物館

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1 日本工業大学内  
TEL (0480) 33-7545

## ✓お申込み要領

### (1)お申込み期限・要領

添付した受講申込票(Excel版)に必要事項をご記入の上、「日工販教育事業局」宛てE-mailにてお申込みください。

**お申込み期限：2024年4月26日(金)**

#### 《ご留意事項》

お申込受付後、受講申込票にご記載いただいた請求書送付先あて「請求書」を送付します。

着金確認後、「テキストおよび受講票(受講ID・パスワード等記載)」を送付いたします(発送開始は、5月第3週~4週を想定しています)。

#### 《ご注意事項》

ビデオ講義は、受講権(ユーザーIDおよびパスワード)を有した方のみが受講できるものですが、悪意を以って講義画面の録画等を行った場合、当該行為は著作権の侵害となりますので厳に慎んでいただきますようお願いいたします。

なお、**お申込み時に「不正な行為は一切行わない」旨を誓約された企業様のみ**に、**受講のご案内を別途お届けすることとしていますので、申込票の所定欄にチェックをお願いいたします。**

### (2)受講料お支払いについて

#### 《受講料》

講座名		日工販会員	非会員
基礎講座(座学)	ビデオ5科目(全員)	35,000円	60,000円
基礎講座(実習)	希望者のみ(先着順)	15,000円	15,000円

注1) お支払い後は、受講内容の一部変更は可能ですがキャンセル(返金)はできませんので予めご了承下さい。

注2) 座学を受けない「実習のみの受講参加」は受付いたしません。

日工販がお申込みを受付けた後、日工販経理担当から(お申込み時にお知らせいただきました)各社「請求窓口」の方へ請求書をメール送付<sup>※1</sup>させていただきますので、期限までのお支払い<sup>※2</sup>をお願い申し上げます。

**受講料お支払い期限:2024年5月17日(金)まで(厳守)**

※1. 「請求QUICK」(SBIビジネス・ソリューションズ(株)社提供)ツールを利用し、メールに請求書(PDF)を添付して送付いたします(別便でパスワード通知メールも届きます)。

※2. 社内経理手続き上の事由等により、期限までのお支払いが出来ない場合は、以下「お支払い期限」までに日工販教育事業局までご一報をお願いいたします。

### (3) 公的助成金制度

配信ビデオ受講形式による日工販SE教育講座は、2022 年度以降、厚生労働省の「人材開発支援助成金」制度の適用対象となっており、加えて 2024 年 4 月 1 日から助成要件が緩和され、今年度「基礎講座」につきましては助成対象となり得ますので、ご申請を要請される予定の各社はお早めに各都道府県労働局へお問い合わせください。

#### 《お申込み・お問い合わせ先》

日本工作機械販売協会 教育事業局 (池邊)

E-mail : [kyouiku@nikkohan.or.jp](mailto:kyouiku@nikkohan.or.jp) TEL 03-3454-7951



日本工作機械販売協会

<http://www.nikkohan.or.jp>